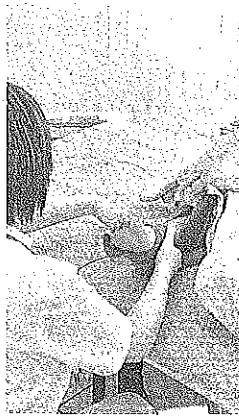


# 糖尿病

## ストレスフリー療法で 血糖値が正常化

脚を切断した重症者でもインスリン注射やめられた



糖尿病歴20年のAさん 一般的に糖尿病は、重 25単位注射していたが、(64)は、合併症による 症化すると進行を食い止 病状は改善されず、「人 糖尿病性壊疽で、左脚を めるのが難しく、坂道を 工透析まで時間の問題」 切断。糖尿病性腎症発症 駆け落ちるよう悪化す と言われていた。

に加え、先天的な片腎臓 (腎臓が片方しかない) さんもおかりつけの病院 一点を温める治療を毎月 もあり、腎機能が20%程 で10種類以上の薬を処方 受けたところ、8カ月目 度まで低下していた。 され、インスリンも毎日 の今、血糖値は125 (mg/dl)から109以 下に、HbA1cは6.7(%)から5.8以下 7(%)から5.8以下 法」というものだ。開 重程度の糖尿病が改善す るのは、ストレスフリー 療法でストレスホルモ ンが減って副交感神経が活 性化し、血液循環がよく なって深部体温が上昇す るということ。V E G F

人工透析も免れている。 理事長(鍼灸師、柔道整 復師)を中心とした医師 や鍼灸師の研究チーム。 「これらの結果から分か るのは、ストレスフリー 療法でストレスホルモ ンが減って副交感神経が活 性化し、血液循環がよく なって深部体温が上昇す るということ。V E G F



足(基本は右足)の裏の 第2趾と第3趾の中足骨 頭間の中央を温めます。 温度は50度以下で、時間 は15〜30分間。これによ って、ストレスホルモ ン、深部体温、血管の細 胞を増殖させる血管内皮 細胞増殖因子細胞(V E G F)などに明らかな変 化が見られるのです」

10人の重度の糖尿病患 者を対象に行った実験で は、ストレスホルモンで ある副腎皮質刺激ホルモ ンとコルチゾールが著し く低下、深部体温(皮下 3cm)は2度近く上昇し た人もいた。V E G Fは 平均2倍増えた。

### 足の裏を温めるのがポイント。男性機能もアップ

改善例はいくつもある。ある人は、5カ月間 にストレスフリー療法を 5回受け、血糖値は221から114に、HbA1cは7.3から5.8に。血糖値435、HbA1c13.9だった人 は、3カ月間に8回の療 法で、それぞれ109、5.4まで下がった。

増加することも分かって います。つまり、血管が 「ストレスホルモンを減 若返り、血流がよくなら し、血流をよくし、深 部体温を上げる治療法で の直後には、末梢神経で あることから、糖尿病だ けでなく、高血圧、脂質 異常症改善、免疫力上 昇、不眠の解消、男性機 能アップなどさまざまな 効果があります」

自由診療なので、13回 1クールで29万円。スト レスフリー療法を家庭で もできる機器が来年早々 に販売予定で、30万円以 下くらいになるといっ う。 試してみるか。

**膝痛も改善**  
 記者(38)も受け てみた。治療中温 治痛なりつた話不 足がポカポカで下 な鼻直た。 後、ジョギングが づらくなる。正 風邪による。 風邪による。 風邪による。 風邪による。

改善例はいくつもある。ある人は、5カ月間 にストレスフリー療法を 5回受け、血糖値は221から114に、HbA1cは7.3から5.8に。血糖値435、HbA1c13.9だった人 は、3カ月間に8回の療 法で、それぞれ109、5.4まで下がった。